

# 広島GP 開催レポート

梅雨時期としては、異例の好天候に恵まれた7月11日、広島市にて『'99ジムカーナグランプリ第5戦・広島GP』が開催されました。

今人気上昇中の『ジムカーナ』とは、パイロン等で設定されたコースを1台ずつスタートし、走行タイムを競う競技です。コースは毎回異なったコースが作られるため、誰にとっても初めてのコースとなり、単に走ったり止まったり曲がったりの技術の他に、総合力が必要なモータースポーツなのです。

『ジムカーナグランプリ』とは、北は北海道から南は沖縄までの全国8カ所で行われるシリーズ戦の上位4戦のポイントを合計して、年間チャンピオンを競う全国規模の大会です。また、ポイントは、順位だけでなく、レベルアップやクラスアップに対しても与えられるため、初心者でも年間チャンピオン取得が可能です。

さらに、バイクを必要以上に改造するのを制限しているため、普段乗っているままのバイクで気軽に参加し、楽しむことができるのもうれしいですね。

さて、今回の開催地は広島、広島と言えばやはり「お好み焼き」（もうひとつの名物「カキ」には少々時期がわるいですが）大会前日には、遠征組が広島市中心部にある「お好み村」（お好み焼き屋が、たくさん入っているビルです）に続々と集結し、一つの店を貸し切り状態にしてもらいあがったとか聞いております。（そのままゲームセンターに消えて、次の日の本番前に、ゲームで対決したグループもあったようですが・・・）

大会当日は、曇り。今年の広島GPはコースに特徴があったのです。一見なんの変哲もないと思われるパイロンレイアウトなのですが、コース上の複数箇所に、トライアルの大会とかで使われるマーカーがずらり帯状に配置してあります。そう、競技者はこの1メートルに満たないマーカーと道路の端の間を駆け抜けていかなければならないのです。（水平対向のBMWで参加のNさんはさぞ驚かれたでしょう、）そしてもうひとつ、コース図を配られた参加者が目にしたのは、「ブラックボックス」と記されたセクションだったのです。このセクション、コース図にはどんなセクションなのか全く記載されていません。また、コースの作成もこの部分だけは当日走行を行わない専任スタッフのみの手によって行われ、ご丁寧にブルーシートで覆われています。もちろん慣熟歩行で確かめることさえできない立ち入り禁止ゾーン。そう！1ヒート目で実際に走行するまで、どのようなレイアウトかはわからなかったのです。（さてどう走る？？そして結果はいかに??）

そんな艱難辛苦を乗り越えて、1ヒート走行後のお昼休み、昼食の時間でもあります。本日用意された昼食はなんとお好み焼き！！前日から連ちゃんの方にはくどかったかな？そんななか、昼食を終えた選手はコース上に散らばります。みんなの興味はやっぱりブラックボックス。「ここはこう曲がれる」とか他の選手と話しながら（けん制しながら（笑））真剣にコースをにらんでいました。こういったところも、ジムカーナの大きな楽しみのひとつ、自分の通れる最速ラインを見つけたときは、喜びもひとしおなのです。

そして、競技が終わっての表彰式、遠来賞などの特別賞の表彰などもあり、賞品を手にした参加者たちは、満足げに会場を後にしました。（遠方より来た人、気をつけてくださいね）

ジムカーナグランプリ、この後の第6戦は8月15日開催の長野、そして第7戦は9月26日開催の九州、最終戦は11月28日開催の京都GPだ、君たちの側でも開催されているかもしれないぞ、まずは参加してみよう！

## 「広島GP 各クラス別入賞者」

Aクラス	1位	高吉_秀樹	モンキー	1'32"880
	2位	今津_秀之	プロSP1	1'37"962
	3位	大畑_周三	XJR1300	1'44"450
Bクラス	1位	本庄_孝光	CB750K4	1'28"511
	2位	伊藤_康敏	V-Twin MAGNA・S	1'43"167
	3位	坂本_幸司	CB750F	1'51"025
Cクラス	1位	有吉_剛治	CB-1	1'22"532
	2位	大東_正寿	FZR250R	1'32"268
	3位	高都持_敦	Wolf250	1'33"326
Dクラス	1位	黒田_光浩	スパーダ	1'19"198
	2位	園田_賢	ジェベルGPS250	1'22"062
	3位	一木_洋	ホーネット600	1'22"370
Eクラス	1位	小林_裕之	プロSP1	1'16"175
	2位	近藤_孝徳	VFR400K	1'17"163

3位 津賀\_卓哉

ホーネット600

1'18"671